



山隈 やまくま

政子 まさこ

概要

氏名 山隈 政子

推薦団体 熊本市

主な活動地 熊本市

本賞

山隈政子氏は、熊本県の伝統的工芸品に指定されている「肥後まり」を、四十五年余にわたって制作されている職人です。

「肥後まり」は、熊本国際民芸館の初代館長である故外村吉之助氏が考案・大成されたもので、芯にはもみ殻を使用し、草木染の木綿糸を巻きつけた後、十三種の文様で刺繍を施して完成します。氏は、この伝統の技法を維持継承されています。

また、くまもと工芸会館等で、制作の実演や一般の方への講習を行うなど、「肥後まり」の普及に尽力されています。

さらに、平成六年に自らが代表となって「肥後まり作りの講習会（現：肥後まりの会）」を立ち上げ、積極的に後継者育成を行い、現在も二十八名の会員の指導にあたっておられます。

このように、氏は、伝統的工芸品である「肥後まり」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和四十五年 「肥後まり」制作開始

平成六年 「肥後まり作りの講習会（現：肥後まりの会）」立ち上げ

平成九年 「肥後まりの会」が熊本県伝統的工芸品に指定

役職

- ・ 一般社団法人くまもと工芸協会会員
- ・ 熊本県伝統工芸協会会員
- ・ 肥後まりの会代表